

「7.3」「7.17」——権力との闘争

導入部

「7月3日」「7月17日」は、広宣流布の団体である創価学会と、その前進を阻もうとする権力の魔性と  
の闘争において重要な意義を留める日です。弟子である私一人ひとりが、三代の師弟の正義の大闘争に  
学び、誓いも新たに出發しましょう。

1枚目／「大阪事件」（8枚目の絵の裏に貼る）

昭和32年（1957年）7月3日、当時、青年室長として指揮をとっていた若き日の池田先生が、事実無根の  
容疑で不当に逮捕されました（大阪事件）。

この年の4月、参議院大阪地方区の補欠選挙で、一部の学会員が選挙違反の容疑により逮捕。検察は、逮捕  
された学会員を強引に取り調べ、「池田室長の指示で選挙違反を行った」との虚偽の供述をさせ、池田室  
長に大阪府警察本部への出頭を命じたのです。

2枚目／炭労問題の渦中での出頭要請（1枚目の絵の裏に貼る）

そのころ池田室長は、北海道の夕張にいました。

当時、勢力を誇っていた夕張炭労（炭鉱労働組合）が、学会の急速な発展を妬み、現地の学会員を不当に  
弾圧しました。戸田第二代会長は、炭労の弾圧から学会員を守るため、愛弟子の池田室長を北海道に派遣し  
たのです。

北海道で大阪府警への出頭要請を知った池田室長は、7月1日、2日と、炭労に抗議する大会を行い、夕  
張の学会員に勇気と確信の火をともし、大阪に向かいます。

3枚目／羽田空港での師弟の姿（2枚目の絵の裏に貼る）

7月3日、大阪府警に出頭するため、池田室長は北海道の千歳空港を出発します。途中、乗り継ぎのために降りた羽田空港の待合室には、戸田先生が待っていました。

迫害を一身に受け、権力の魔性との戦いに向かおうとする池田室長の身を案じた戸田先生は「死んではならんぞ。大作、もしも、もしも、お前が死ぬようなことになったら、私もすぐに駆けつけて、お前の上につぶして一緒に死ぬからな」と、命を振り絞るように語り、池田室長を見送りました。

4枚目／出獄と入獄の日に師弟あり（3枚目の絵の裏に貼る）

大阪府警に出頭した池田室長が、公職選挙法違反の容疑で投獄されたのは、7月3日の午後7時ごろでした。

この12年前の昭和20年（1945年）7月3日のほぼ同じ時刻、戦争に反対し軍部政府に不当に逮捕されていた戸田先生は、2年に及ぶ獄中闘争を貫いて出獄しました。

のちに池田先生は「出獄と入獄の日に師弟あり」と詠み、創価の師弟を貫く深き縁と、権力の魔性と戦い抜く精神をとどめたのです。

5枚目／東京大会（4枚目の絵の裏に貼る）

7月12日、池田室長の即時釈放を求める東京大会が緊急に行われました。さらに戸田先生は、衰弱した体を押して、自ら大阪地方検察庁へ抗議に出向きます。

獄中で池田室長は、厳しい取り調べにも屈することなく、無実を主張しました。そこで検察は、罪を認めなければ戸田会長を逮捕すると、池田室長に迫ったのです。

“お体が衰弱した戸田先生が投獄されるようなことがあってはならない”——池田室長は苦悩の末、師匠と学会を守るため、身に覚えのない罪をいったんは認め、裁判の場で無実を証明することを決心します。

6枚目／大阪大会 (5枚目の絵の裏に貼る)

7月17日の正午過ぎ、池田室長は大阪拘置所から釈放されました。戸田先生は「戦いはこれからだよ。御本尊様はすべてわかっていらっしゃる。勝負は裁判だ。裁判長は必ずわかるはずだ」と、確信に満ちた言葉で池田室長を激励します。

午後6時から、大阪府警・地検に抗議する大阪大会が中之島公会堂で開催され、池田室長は師子吼します。「最後は、信心しきったものが、また、正しい仏法が、必ず勝つという信念でやろうではありませんか！」

7枚目／裁判で正義を勝ち取る (6枚目の絵の裏に貼る)

無実の罪で起訴された池田先生が、その後の裁判で正々堂々と真実を訴えたことによって、戸田先生の確信の通り、検察側の矛盾点が明らかになっていきました。

不当逮捕から4年半が経過した昭和37年(1962年)1月25日の第84回公判で、ついに池田先生は無罪判決を勝ち取ります。検察は控訴を断念し、無罪が確定。2月8日、広布旅の途上であるエジプトでその知らせを受けた池田先生は、亡き恩師・戸田先生に思いをはせ、世界広布への新たな前進を誓いました。

8枚目／広宣流布は仏と魔との戦い (7枚目の絵の裏に貼る)

「大阪事件」での池田先生の無罪確定は、学会の正義を満天下に示す、大きな勝利でした。

戦時下の軍部政府に抵抗し、殉教した牧口初代会長と共に獄中闘争を貫き、7月3日に出獄した戸田第二代会長。そして、同じ7月3日に入獄し学会の発展を恐れる権力の策謀を打ち破り、勝って正義を証明した池田第三代会長——。三代会長が貫いた権力の魔性との闘争は、広宣流布が仏と魔との間断なき戦いであることを示しています。私たちはこの三代会長の精神に学び、どんな魔にも屈しない強い自分自身を築いていきましょう。

決意など